

千代田区基本構想懇談会 第1回部会（福祉と保健部会） 議事要旨

【開催概要】

- 1 開催日
令和4年7月28日（木）18時～20時30分
- 2 会場
千代田区役所4階 会議室B・401会議室
- 3 出席状況
学識経験者2名（欠席者無し）
区民 6名（欠席者無し）
- 4 千代田区
樋口区長、古田政策経営部長、佐藤福祉総務課長
事務局： 夏目企画課長、沖田企画担当係長、岩森主任、落合主事、小野寺主事

【次第】

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 本日流れ
- 4 ディスカッション
テーマ1：千代田区の良いところ・好きなところについて
テーマ2：（仮称）第4次基本構想（たたき台）の「めざすべき将来像」について
テーマ3：現行計画における施策の振り返りについて
テーマ4：（仮称）第4次基本構想（たたき台）の「分野別の将来像」について
- 5 今後の予定
- 6 閉会

【配布資料】

- ・資料1：千代田区基本構想懇談会 第1回部会資料
- ・資料2：施策シート
- ・資料3：（仮称）第4次基本構想（たたき台）
- ・参考資料：基本構想に関する主な意見等

【議事要旨】

1 開会

2 挨拶

3 本日流れ

4 ディスカッション

《テーマ1：千代田区の良いところ・好きなところについて》

◎事務局

- ・千代田区の良いところ、好きなところについて、区民の皆さまが日頃感じることや、印象に残っていることについてご発言いただきたい。

■ 治安

○区民・学識経験者

- ・夜間に外出しても大丈夫なほど治安が良い。

○区民

- ・高齢の家族が安心して生活できる。

■ 教育・文化

○区民

- ・公立学校等の教育環境が充実している。

○学識経験者

- ・子ども達の教育や運動施設等が充実している。

○区民

- ・図書館にはビジネス書があるなど図書が充実している。

○区民・学識経験者

- ・歴史的・文化的な場所が多い。

○区民

- ・美術館やイベントが充実している。

■ その他

○区民

- ・病院等の施設や公的サービスが充実し、医療従事者も多い。

○区民

- ・交通アクセスが便利。

○区民

- ・千代田区だからできること（皇居ボランティア等）があり、環境に恵まれている。

○区民

- ・まちが清潔である。

《テーマ2：（仮称）第4次基本構想（たたき台）の「めざすべき将来像」について》

◎事務局

- ・「次期基本構想」に掲げる「めざすべき将来像」について、ご発言いただきたい。

■ 伝統・文化・価値観

○区民

- ・ 伝統という保守的なイメージが強い。伝統に加えてこれからの世代と何かを作り上げていく旨の記載がほしい。

○区民

- ・ 江戸時代から蓄積してきた文化などは、千代田区特有の魅力である。そういった魅力は明確に強みとして記載した方がよい。

○区民

- ・ 常に新しいものが生み出され、それが伝統として受け継がれてきた場所という認識があってもよい。

■ 人・調和

○区民

- ・ 地域住民と大学との連携をより推進することで、学び集う機会や学生との交流にもつながる。

○区民

- ・ 学生や新社会人などと世代間交流ができる場所があるとよい。

○学識経験者

- ・ 昼間人口と夜間人口の人口差が大きいので、そのつながりがあるとよい。

■ 彩（多様性）

○区民

- ・ オフィス街が多く人が住まない閉鎖的な印象があるため、開かれたイメージを盛り込む必要がある。

○学識経験者

- ・ 質の高い様々なまちの要素が既に備わっている。将来に向けての魅力を既にある魅力からもっと引き出せるとよい。

○区民

- ・ 千代田区には個性的なまち並みが揃っており、統一感がない印象を受ける。そのような区の特徴は、在住者には魅力だが、外部には千代田区の魅力として見えにくい。

○区民

- ・ 千代田区は、既に多様なまちが混在している。皇居などの伝統だけでなく、秋葉原のように他のまち並みをイメージできるようなフレーズを入れた方がより魅力的なまちに発展していくことを伝えられるのではないか。

■ その他

○区民

- ・ 「千代田区は、約 400 年にわたり、政治・経済・文化の中心として歴史を刻んできました。」とあるが、千代田区自体は 400 年前から存在していたわけでないので現実に即した記載にした方がよい。

○区民

- ・ 注視すべき内容、将来こうしたいという内容をはっきりさせた方がよい。

○学識経験者

- ・ 千代田区には、区民以外にも、様々な人が活動しているため、その点を基本構想にどのように反映させていくのか検討する必要がある。

《テーマ3：現行計画における施策の振り返りについて》

※施策シート 資料2

※施策 安心して医療が受けられるしくみづくりと、医療と介護の連携の推進に努めます

◎事務局

- ・施策シートは、各部会に関わる現基本計画の施策として、区民等が「重要度が高い」と回答した施策を取り上げている。施策シートに記載したデータ等参考にしながら、この施策の良い点・課題点等について、ご意見をいただきたい。

■ 施策に関して

○区民

- ・医療と介護はセットなのか。

◎事務局

- ・この施策では、医療と介護はセットで考えられている。高齢者の状態に合わせ、在宅、入院、施設入所等の動きを関係機関がスムーズに連携して支援することを意図して掲げている。

■ みらいプロジェクトに掲げた資料に関して

○区民

- ・高齢者総合サポートセンターは既に設置されているという理解で問題ないか。

◎事務局

- ・九段坂病院に合築する形で高齢者総合サポートセンターを設置しており、医療と介護の拠点施設としての役割を担っている。

○区民

- ・「訪問診療の実施している医療機関数」は、初期値・中間値・見直し時と現状は理解できるが、目標値を確認すると後退しているように思える。

◎事務局

- ・当初目標値（R1 年度：10 か所、R6 年度：15 か所）は H30 年度に達成している。

■ 包摂的な医療制度構築

○区民

- ・区指定の健康診断実施機関はアクセスが悪いため、比較的通いやすい台東区にかかりつけ医がいる。しかし千代田区と台東区では医療連携が取れていない。他区では区の医師会同士で連携が取れているので、千代田区でも他区との連携をしてほしい。

○区民

- ・訪問医療に関しては、コロナの影響で高齢者だけのものではなくなったため、その点も踏まえていく必要がある。

○区民

- ・訪問看護の際に、特定の訪問看護しか選択できないという制約があるが、医者と患者の相性等もあるので、自由に選択できる仕組みづくりをしてほしい。

○学識経験者

- ・介護保険の地域密着型サービスでは、隣の区と協定を結び、区境に住む方にも滞りのないサービスが受けられるような仕組みがある。医療や保健福祉においてもそのような配慮が必要と考える。包摂的なコミュニティをつくるには、行政サービスが包摂的な考え方になり、地域の団体と話し合いをして取り組むことが重要である。
- ・「医療」というと、高齢者の生活を支えるという印象を受けるが、今後はあらゆる世代・あらゆる立場の人を対象に支援していく必要がある。

○区民

- ・千代田区は、高校生まで医療費の補助があり、そのような施策は千代田区に住むことの魅力に繋がる。高齢者だけではなく子どもへの視点も忘れずに検討を進めてほしい。

■ 医療と介護の連携について

○区民

- ・この施策は、平成 27 年作成のためコロナを想定していなかったが、現在は、「安心して医療が受けられる」という点を重視する人が多いと予想される。今後、アンケートを実施する際は、医療と介護を分けた方がよいのではないかな。

◎事務局

- ・前回のアンケートからコロナにより状況が変わったため、新たに発生したことに対応していく必要はあると考える。次期構想の下では、テーマごとに計画的に実施していきたい。

■ 身元保証人に関して

○区民

- ・身元保証人が確保できなくても安心して医療と介護が受けられるような仕組みづくりがあると良い。足立区では社会福祉協議会が身元保証人を代行するサービスがあると聞いている。千代田区でも、サービスの利用条件等を緩やかにしながら、同様の制度を検討してほしい。身元保証人制度に関して日本は他の先進国に比べ遅れている。
- ・ふるさと納税により 23 区の納税額が減少していると聞いている。千代田区への納税額に応じポイントを貰える制度を構築し、そのポイントを預託金の支払いなどにポイント還元できるような取り組みも考えられる。

○区民

- ・身元保証人は、患者の容態が変わった際などに、今後の対応を判断する役割も担うため、必要だと思うが、保証人がいないと入院ができないといったことがないように区からも支援してほしい。

○区民

- ・千代田区は、高齢者になると、転出してしまう傾向なのか。

◎事務局

- ・人口推計の分析では、60 歳の方の移動の傾向が見られる。千代田区は、給与住宅が多いため、定年退職で給与住宅から転出する人がいると推察される。

○区民

- ・マイナンバーと保険証の紐づけをすることで、カバーできる場所（入院・治療に関する合意書等）もあるので、その検討も行う必要がある。

《テーマ4：（仮称）第4次基本構想（たたき台）の「分野別の将来像」について》

◎事務局

- ・テーマ3での議論を踏まえながら、「次期基本構想」に掲げる「分野別の将来像」についてご意見をいただきたい。

～自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち～

■健康・医療

○区民

- ・高齢者に重きが置かれているが、外国人のことが想定されていない。外国人のことも想定すると開かれた区政であるとアピールできるのではないか。

○区民

- ・健康とあるが、身体的な健康だけでなく「精神」の健康の要素も盛り込んでほしい。

○学識経験者

- ・構想は抽象的な内容になるかと思うが、次の具体的な計画につなげていくにあたり、どういう意図で一つ一つの言葉を使用しているのかを意識していく必要がある。例えば、「健やか」・「健康」という言葉は、WHOで「身体・精神・社会的にバランスが取れている状態」と定義されている。行政の計画として、そのような言葉の定義とも連動しながら検討を進めた方が良い。

■社会包摂・多様性

○学識経験者

- ・「○多様なライフスタイル～」と「○すべての子どもたちの～」については、子育てと子ども時代のことは詳細に記載されている一方で、それ以外のライフステージが記載されていない。どんな人、どんなライフステージであったとしても、孤立せずに繋がりを持てることが重要である。「集い」の意味を幅広く捉えた方が良いと思う。また、中にはゆるやかに繋がりたい人もいるため、繋がり方についても幅を持たせた方がよい。

○学識経験者・区民

- ・多様性が認識・尊重される必要がある。その先には、自分らしく生きることができる社会の実現があると思う。

■その他

○区民

- ・もう少し内容に具体性を持たせた方がよい。

○区民

- ・物理的にも身体的にも平和を保てるような内容にしてほしい。

○区民

- ・「普遍的な幸せ」とあるが、人によって普遍的な幸せは異なるため、記載内容を変更した方がよい。

○区民

- ・将来像を掲げるにあたっては、「自分らしく」という言葉はキーフレーズになっていると思う。